

「おにぎり」と「セージ」

東広島市立八本松中学校一年 吉田 心羽

れたしの家では、お母さんが毎日おやつを

作ってくれます。クッキーの日、ふかしたさ

つまいもの日、小さめなパンの日、最近よく

出るのが、レンジで作った、京都名物のハッ

橋の日もあります。

このような甘い系のおやつは、もちろん好

きですが、わたしの中で、お母さんのおやつ

ナンバーワンは「おにぎり」です。

そのおにぎりは、かためにぎられて、ま

っ黒なのりがまいてあり、手で食バやすいよ

うにラップに包まれています。中身はかつお

やしやけのふりかけがまん中に入っています。

お茶わんに盛られたご飯より、「ぎゅ」と

にぎられたおにぎりは、手のひらサイズで、四

口ほどで食バぎれて部活おわりのつかれた私

にはぴったりな私にはぴったりな大きさです。

私は今年、中学生になりました。この四月

新しい制服・かばん・くつでワクワクしながら

ら学校へ行っていました。

五月、部活が始まり、帰りも小学校の時より遅くなりました。すると、少しずつ体がかれてくるようになったのです。でも友達と会える毎日が楽しくて、勉強が忙しくてもがんばってとりくみました。

そんな時、学校から帰って、手を洗い、着がえをして、さあ、おやつを食べよう、と思ったら、ラップでまいたおにぎりにかわいいくまさんの絵がかかれた、小さなメモ用紙に「X」マークがそえてありました。

「よくがんばりました。」
それは、お母さんの字でした。その「X」マークを見ても、忙しい毎日だったわたしの心に、「ほん」とひびきました。その日のおにぎりは、もちもちろん、とてもおいしかったです。

食べ終わった後、お母さんに、「最近、ただいま」って帰ってくる声がいっぱいあって、顔もつかれた感じがしたから「X」マークをかくてくれたよ。あんまり無

理せず、がんばってね。

と言われました。

わたしは、おどろきました。なぜなら、お母さんから見ると、私は「そんな風に見えたんだ、お母さんはすごいな」と思いました。いつものおにぎりだけでも、元気をもらっていましたが、そのメッセージを見たら、もっとパワーが出てきました。

それから、毎日の勉強も、部活も、いそがしいし、大変だけれど、仲間と楽しく、コツコツがんばっています。

そして、今日も、お母さんの、手作りおにぎりが楽しみで、部活から家へ帰ってきました。

私にとって、「お母さんの手作りの、おにぎり」は、おにぎりの中に、「無理せず、がんばってね」と、いうメッセージも、こめられているような気がします。

その、パワーの出るおにぎりは、おいしく

て、世界で一番最高のおにぎりで

明日も、そんなパワーの出る「
ッポおにぎり」が食べたいです。
「パワーア